

令和四年第三回薩摩川内市議会定例会 施政方針等の概要

令和四年第三回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、このたびの第九十八回全国市議会議長会定期総会において、議員在職永年表彰の栄に浴されました石野田議員、井上議員、宮里議員、新原議員及び森永議員の五名の皆様方に、心からお祝いを申し上げますとともに、その御功績に対し、深く敬意を表するものであります。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、依然として全国各地で新規感染者数の高止まりの状況が続いております。入院・自宅療養中の皆様の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

本市においても、若年層を中心に感染者が連日確認されております。

市民の皆様におかれましては、必要な場面でのマスクの着用、手洗い・手指消毒やこまめな換気の実施、三つの密の回避などの基本的な感染防止対策を引き続き徹底していただきますよう、

改めてお願い申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、医療機関の御協力の下、三回目の接種を進めており、今日五日までに、五万七千六百六十八人（六十一・六パーセント）の市民の方が三回目の接種を済まされています。

さらに、現在は、四回目の接種も始まっております。対象となる六十歳以上の方などへのワクチン接種が円滑に進むよう、関係機関と緊密に連携を図りながら、引き続き全力を傾注して参ります。

一方、感染拡大により、飲食業等をはじめ、様々な事業者の皆様が非常に大きな打撃を受けておられます。

加えて、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響を受けた原油価格の高騰、物流・製造コスト上昇による食料品価格の上昇なども重なり、その影響は徐々に大きくなっております。

こうしたことから、先月二十三日、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援や、新型コロナウイルスワクチンの四回目接種に係る経費等を内容とする総額五億三千二百二十七万二千円の予算の補正を専決処分いたしました。

今後も、国・県の支援制度の活用を促進し、様々な形で、コロナ禍等による影響を受ける事業者や市民の皆様へ寄り添いな

がら、生活支援、地域経済対策、雇用対策等に適切に取り組んで参ります。

災害対策につきましては、梅雨や大雨の時期を迎えるに当たり、自然災害等への備えを確認するため、四月十五日に防災会議を、四月二十二日に防災点検を実施しました。

また、先月十五日には、さつま町で行われました川内川水防演習に参加し、国、流域自治体、自衛隊、消防局並びに消防団、関係団体等と一体となった流域水防体制の確認を行ったところであります。

先月十八日には、川内川河川事務所主導の下、向田排水機場において、排水機場の取水口付近を大型土のうで締め切り、実際に水を溜めて、春田川から水を汲み上げる点検が行われました。出水期を前に、国、市及び実際にポンプを稼働させる水門管理人の三者立会いの下、排水ポンプの正常な動作の確認が行われたところであります。

近年、激甚化する大雨や台風により、災害の危険性が高まっていることから、引き続き、市民の皆様のお安全・安心を確保するため、的確な情報の提供や関係機関との連携により、迅速かつ適切な対応を可能とする防災体制の構築に努めて参ります。

四月二十日には、塩田康一鹿児島県知事の立会いの下、京セ

ラ株式会社との立地協定調印式を行いました。同社には、鹿児島川内工場の操業開始以来、本市の地域振興や雇用創出に大きく貢献していただいております。改めて、今回の増設計画に対し深く感謝申し上げます。今後も、新たな就業の場の創出をはじめ、本市の地域経済発展に大きく貢献していただけるものと期待しているところであります。

なお、このたび、本市と阿久根市、さつま町の行政及び経済団体が合同で、広域的なUIJターナー者、移住者の増加を目指す、「薩摩国雇用創造協議会」を発足いたしました。経済社会の抱える課題は多種多様であり、今後、地域経済の実態に即した広域の対応や連携を更に拡充して参ります。

一方、本市においては、高校生の視点から持続可能で魅力的なまちづくりを推進するために、薩摩川内市みらいアドバイザー制度を設けており、先月九日、川内高等学校三年生の五グループ十名に対し、委嘱状を交付しました。引き続き、他の高校等においても、あらゆる形で提言をいただき、各種政策に反映して参ります。

「ぽっちゃんプロジェクト」につきましては、地域おこし協力隊員を新たに二名配置いたしました。荒木久美子隊員は、SDGs・カーボンニュートラルの普及・情報発信を、香港から

転入した何曉萍（ホウヒウピン）隊員は、外国人観光客の受入体制の充実に向けた整備・企画等を担当することとしております。各隊員が地域の魅力向上、発展のため活躍しており、心強く感じているところであります。

先月十一日には、女子バレーボール日本代表チーム強化合宿の歓迎式を行いました。本市における同チームの合宿は六年ぶり八回目の実施となります。眞鍋監督の指揮の下、ネーションズリーグ二〇二二において、本合宿での成果を十分に発揮され、優勝の栄冠を勝ち取られることを市民の皆様とともに願っております。

今月二日、本市と株式会社姫路ヴィクトリーナは、バレーボール活動を通じて、青少年の健全育成及び市民の健康増進を推進することを目的として、連携・支援協力に関する協定を締結いたしました。今後、青少年等を対象に、バレーボール教室などを実施する予定であります。

先月十九日には、漫画「Dr・コトー診療所」の作者である山田貴敏氏と、同漫画の主人公である「Dr・コトー」（五島健助）氏に、薩摩川内観光大使を委嘱いたしました。

甌島における離島医療をモデルとした本作品を通じ、本市を全国に紹介していただいた御縁により実現したものでございま

す。今後、両氏との連携により、本市の更なるPRや医療従事者の確保等に積極的に取り組んで参ります。

四月二十三日には、川内港国際物流ターミナル着工式が行われ、今日三日には、九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所川内港出張所が開所されるなど、川内港の整備が本格的に始まりました。

去る二月に公表いたしました「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望」にも掲げた、川内港臨海ゾーンにおける循環経済・産業拠点の創出をより具現化できるよう、全力で取り組んで参ります。

先月二十一日には、南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会が、国土交通省九州地方整備局長、国会議員をはじめ、約八百名の参加の下、盛大に開催されました。南九州西回り自動車道は、地域間交流連携の強化、産業・観光の振興、災害時における避難・物資輸送等に極めて大きな役割を果たす高規格幹線道路であります。今後も、沿線の阿久根市をはじめ関係市町、関係団体、沿線住民の方々と連携しながら、一日も早い全線開通を目指し、国等に対し強力に整備促進を働きかけて参ります。

今日三日には、市内全域において光ファイバー網の整備が完

了し、超高速ブロードバンドサービスが利用可能となったことを記念して、デジタルの力を活用した地方創生をテーマとしたパネルディスカッションや、行政のデジタル化を推進するための講演会を開催しました。引き続き市民の皆様と一体となって、医療、農業、産業等の各分野におけるデジタル化を推進し、スマートシティ実現のために取り組んで参ります。

先月十二日には、十月に開催されます「第十二回全国和牛能力共進会鹿児島大会」に向けた川薩地区の一次予選会が開催されました。本選出場を目指して取り組んでおられる関係者の皆様の熱意がひしひしと感じられたところであり、市といたしましても、地域をはじめ関係機関の皆様と一体となって更なる畜産振興に取り組んで参ります。

四月十七日、二十一日及び二十四日の三日間、自治会運営説明会を開催し、五百五十六名の自治会長の皆様に、委嘱状を交付いたしました。本市の主要施策の概要や自治会運営に関する事項等を説明するとともに、自治会長の皆様の声を直に伺い、皆様の熱い思いに深い感銘を受けたところであります。

なお、市町村合併を契機にスタートした地区コミュニティ協議会制度につきましては、昨年度末から各会長の皆様による意見交換等、振り返り作業を実施しているところです。様々な課

題を総合的に分析するなど、引き続き、各地域の皆様と一体となつて、今後のコミュニティ政策の方向性を検討して参ります。

四月二十六日には、入来地域令和コミュニティトークを開催しました。参加された皆様と各地区コミュニティ協議会の地区振興計画の振り返り状況を共有しながら、各地区の皆様の御意見を直接拝聴でき、大変意義ある機会であつたと考えております。この対話の場は、今年度中に各地域を一巡したいと考えており、いただいた御意見に対する回答等を、広く市民に広報するよう努めて参ります。

先月十九日、本市と大塚製薬株式会社は、「市民の健康維持・増進等に関する包括連携協定」を締結いたしました。今後、市民の熱中症予防や健康被害の防止、災害時における被災者への貢献及び協力、SDGsの普及啓発など、具体的な協働の取組を実施する予定であります。

先月二十日には、内閣府よりSDGs未来都市に選定され、選定証授与式に出席し、直接、野田聖子地方創生担当大臣から選定証を拝受いたしました。この選定を契機に、経済のみならず、社会、環境の三つの側面から、総合的に本市の持続的な発展を目指したいと考えております。今後、〃薩摩川内SDGs

チャレンジ”を合言葉に、市民の皆様と一体となって様々な取組を強力に推進して参ります。

なお、先月から、SSプラザせんだい内の男女共同参画センターの「なんでも相談室」機能を拡充し、つながりサポート事業による女性相談窓口を開設しました。日々の不安や、DV、貧困など幅広い悩みの相談と生理用品の提供などに対応するものであり、今後も、一人で悩む女性を取り残さない体制の充実に図って参ります。

また、先月十九日には手話奉仕員養成講習会及び手話通訳者養成講習会の開講式に、二十二日には音訳奉仕員養成講習会の開講式に出席いたしました。それぞれの受講者の皆様に対し、障害のある方の社会参加の促進のため、ぜひ修了証書を取得され、御活躍いただきたい旨をお願いしたところであります。

引き続き、誰一人取り残さない社会を具現化する取組を進めて参ります。

今月一日には、デジタルデータで作成された電子図書館の貸出しができる薩摩川内市電子図書館サービスを開始いたしました。これにより、来館が困難な市民の皆様にも、気軽に利用していただけるものと確信しております。今後も、社会教育の拠点施設として、更なる利便性の向上に取り組んで参ります。

ところで、令和三年度の各会計の決算につきましては、先月三十一日に出納閉鎖となり、一般会計の実質収支で二十八億四千八百八十七万八千円、九つの特別会計の実質収支の合計額で五億四千百五十六万二千円の剰余となりました。

全ての会計において、健全な財政運営を堅持できましたことを御報告申し上げますとともに、今後の安定運営に必要な実質収支を確保できたところであります。

これも議員各位の御協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

次に、今回の補正予算案につきましては、当初予算成立以降、国県補助金の内示を受けるなど、事業実施上補正する必要が生じた経費について、提案いたしました。

まず、一般会計につきましては、六億八千百二十六千円を増額し、予算総額を五百四十六億八千三百二十九万八千円としたところであります。

主な補正内容でございますが、特定離島ふるさとおこし推進事業補助金を活用した事業として、消防団資機材整備事業等の所要経費を計上したほか、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業として、学校給食食材高騰対策事業に係る経費や、水道料金減免対策事業に係る経費などを計上するとともに、新型コ

コロナウイルス感染症関連地域の商いパワーアップ事業に係る経費を増額しております。

また、歳入において、補助事業の内示等による国県支出金や寄附金、市債等の増減調整を行っております。

特別会計におきましても、一般会計と同様に特定離島ふるさとおこし推進事業補助金の内示等に伴う所要の経費を計上しており、特別会計全体の補正額は、三千二百七十八万二千円の増額となっております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市税条例等の一部を改正する条例案をはじめとする各議案について、御審議をお願いしております。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。